

# 屋久島町における鳥獣被害の実態

資料3-5

表-1 作物別被害面積の推移

単位:ha

農作物名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	(同左構成比)
早期水稲	10.0	10.0	8.0	8.0	8.0	7.5	0.3	3.0	3.0	2.5	2.7%
さつまいも	5.0	10.0	11.0	22.0	18.0	16.0	6.5	17.4	17.4	10.9	11.6%
茶		5.0	3.0	5.0	50.0	50.0	2.0	30.0	30.0	25.0	26.7%
ばれいしょ	10.0	50.0	25.0	104.9	10.0	15.0	11.1	4.5	4.9	2.6	2.8%
他野菜類	1.5	1.5	2.0	4.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.7	0.1	0.1%
ぼんかん	42.0	42.0	38.5	171.0	154.0	129.0	29.7	59.0	59.0	52.0	55.6%
たんかん	70.0	90.0	80.0	199.0	108.0	124.0	49.9	82.0	55.0	0.0	0.0%
びわ	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
時計草	4.5	4.5	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	0.7	0.7	0.5	0.5%
その他	0.1	0.1	0.1	1.1	20.5	20.5	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0%
計	145.1	215.1	170.6	521.0	375.5	369.0	100.0	196.8	170.7	93.6	100.0%

表-2 作物別被害金額の推移

単位:千円

農作物名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	(同左構成比)
早期水稲	595	674	569	580	729	757	15	259	249	238	5.4%
さつまいも	268	584	606	1,210	2,618	2,049	306	807	838	625	14.2%
茶		211	122	200	2,818	3,154	33	1,144	1,169	592	13.4%
ばれいしょ	912	4,510	1,393	5,845	1,006	1,409	762	507	580	199	4.5%
他野菜類	253	266	333	1,760	1,098	490	0	0	540	6	0.1%
ぼんかん	7,563	6,182	3,785	29,975	26,719	15,968	1,919	6,591	1,759	2,710	61.4%
たんかん	20,222	29,279	17,436	77,802	33,815	41,567	7,418	11,426	5,830	0	0.0%
びわ	851	879	784	1,568	359	240	0	0	0	0	0.0%
時計草	989	964	285	570	58	66	2	116	122	46	1.0%
その他	47.0	47	47	960	2,404	2,385	144	12	0	0	0.0%
計	31,700	43,596	25,360	120,470	71,624	68,085	10,599	20,862	11,087	4,416	100.0%

表-3 鳥獣別被害金額の推移

単位:千円

鳥獣名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	(同左構成比)
サル	21,876	17,750	15,540	29,520	25,032	19,253	4,597	6,747	3,254	1,488	33.7%
シカ	3,441	3,707	4,216	23,480	42,022	24,234	4,134	10,725	6,723	2,801	63.4%
タヌキ	0	0	0	960	1,784	1,765	144	257	0	0	0.0%
ヒヨドリ	6,383	22,139	5,604	66,100	1,326	21,483	1,623	2,821	804	0	0.0%
カラス	0	0	0	410	1,460	1,350	100	313	306	127	2.9%
計	31,700	43,596	25,360	120,470	71,624	68,085	10,599	20,863	11,087	4,416	100.0%

表-4 鳥獣別被害の様相

サル	果樹園等の出没が多く確認されている。被害面積等は減ってきているものの電気柵等を設置している園においても、周辺の防風林から侵入し被害を受けている状況が確認された。また、通学路や観光施設等の生活圏に出没し人的被害を及ぼすケースも見られる状況であった。
シカ	被害面積については、昨年と比較して減少しているが、依然として作物全般に被害している状況であり、住民の生活圏内での果樹、家庭菜園における被害も発生している。畜産については、飼料や乾草等の食害やシカに寄生するヒルやダニによる被害も発生している。引き続き効果的な被害防止対策を講じる必要がある。
タヌキ	例年と比較し、被害額等は減少傾向にあるが生活圏への出没が見られ捕獲頭数も年々増加してきている。
ヒヨドリ	渡りの影響もなく殆ど見受けられなかったが、一部の果樹園で収穫時期の被害発生が見られた。
カラス	依然として牛舎の飼料等を食害されている状況であり、捕獲器での捕獲を行ったことにより、一定の効果は上げられている。しかし、一部の果樹園で収穫時期の被害発生が見られた。

鳥獣別被害金額の推移

(単位:千円)

